

衛生診断：有機溶剤健康診断〔有所見：尿中蛋白〕

環境・健康

当社の労働衛生コンサルタントが実施した、中小企業等安全衛生診断事業の衛生診断で、有機溶剤健康診断の有所見者〔尿中蛋白〕の状況調査から、尿中蛋白陽性の原因が有機溶剤以外によると考えられた事例を下記に示しました。

有機溶剤健康診断での尿中蛋白の検査値の異常（陽性）は一般的なものであり、受診者の尿中蛋白の陽性が有機溶剤の影響によるものかどうかを判断するには、生物学的モニタリングなどによりばく露量を把握する必要があります。

有機溶剤健康診断有所見者〔尿中蛋白〕の状況調査事例

	状 況
有機溶剤健康診断	有所見〔尿中蛋白陽性〕
使用有機溶剤	酢酸エチル、イソプロピルアルコール、メタノール、トルエン、キシレン 酢酸-n-ブチル、イソブチルアルコール ⇒いずれも腎機能障害関係有機溶剤 ¹⁾ に該当しない
環境中有機溶剤濃度 (作業環境測定結果)	作業環境測定結果は毎回管理区分「1」であり、いずれの成分も管理濃度の10分の1未満
尿中蛋白陽性の原因	腎機能障害関係の当該物質のばく露は認められない ⇒尿中蛋白陽性は有機溶剤のばく露以外の原因によると考えられる

1) 第7回労働安全衛生法における特殊健康診断等に関する検討会（平成23年5月27日）

資料1 労働安全衛生法における特殊健康診断の見直しについて

kes サポート

課 題	kes サポート
有害物質の体内ばく露状況の調査	生物学的モニタリング
有害物質の体外ばく露状況の調査	個人ばく露モニタリング
有害物質の体外ばく露の情報	作業環境測定
衛生診断、リスクアセスメント	作業環境測定、健康診断結果等に基づく衛生診断 リスクアセスメントの実施